

第6学年 体育科学習指導案

日時：平成20年10月20日（月）

5校時（13：45～14：30）

場所：にしみたか学園三鷹市立井口小学校 校庭

学級：第6学年1組 40名（男子21名、女子19名）

指導者：石原 朋之

1 単元名 ボール運動 ゴール型「サッカー」

2 運動の特性

<一般的特性>

- 2つのチームが入り混じり、近くにいるフリーの味方にパスしたり、相手に取られない位置でドリブルしたりしながら攻め、相手ゴールにシュートをして得点を競い合うことが楽しい運動である。
- 攻守の切り替えが速く、運動量の多いゲームである。

<児童から見た特性>

- 相手ゴールを目指し、シュートやパス、ドリブルをすることに楽しさを感じる運動である。
- チームの仲間と協力し合って作戦を立てたり、役割を分担したりしながら、チームのために自分ができることを考えるのが楽しい運動である。
- ゲーム中に仲間と励まし合ったり、アドバイスし合ったりして、チームでかかわり合いながらプレーする実感のある運動である。

3 単元のねらい

【技能】

- ・状況に応じたパスやドリブル、シュートをして攻撃したり、相手の攻撃を阻止するための守備の仕方を身に付けたりして、ゲームを楽しめるようにする。
- ・ボールを保持する人から、ボールの受けるところのできる場所に動いて、パスを受けたりシュートしたりすることができる。
- ・チームの作戦に応じて、自分の役割を把握し、攻撃したり、守備をしたりすることができる。

【態度】

- ・ルールやマナーを守り、仲間と助け合って練習やゲームに取り組むことができる。
- ・場や用具の安全に気を付けながら、ゲームに進んで取り組むことができる。
- ・用具の準備や片付けで、分担された役割を果たすことができる。

【思考・判断】

- ・自分やチームのよさを知り、これらを生かした作戦を立ててゲームに取り組み、振り返ることができる。
- ・サッカーのゲームの行い方を知り、仲間が楽しめるようにルールを工夫することができる。

4 児童の実態

(1) 日常の様子から

明るく活発な児童が多く、休み時間は元気よくサッカー、バスケットボール、ドッジボールなど校庭で外遊びを楽しんでいる。男女ともに2、3人あまり外に出たがらない様子であるが、授業でソフトバレーをすると、友達に誘われて練習する姿が見られた。

体育の授業を楽しみにしている児童も多く、めあてをもって意欲的に取り組むことができる。サッカーや野球、バスケットボールなど、地域のスポーツチームに所属し活動している児童も多く、ボール運動においては、得意な児童が苦手な児童に教えたり励ましたりする姿も見かける。チームの中で互いによさを見つけ、認め合いを通してボール運動が苦手な児童もゲームに参加できるようになってきた。

(2) 体育学習・ボール運動に関する調査から

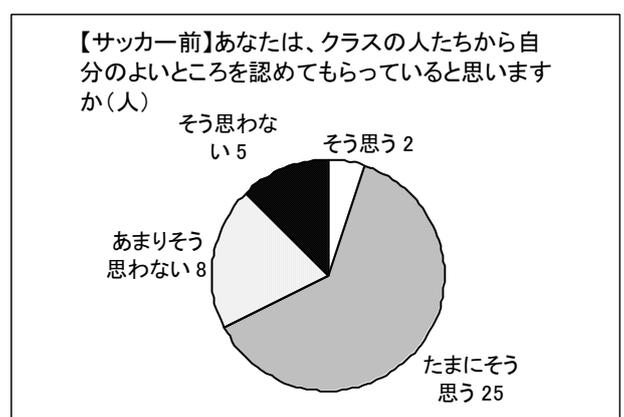
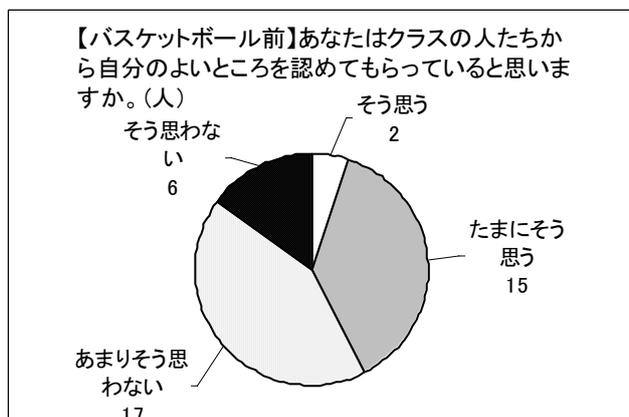
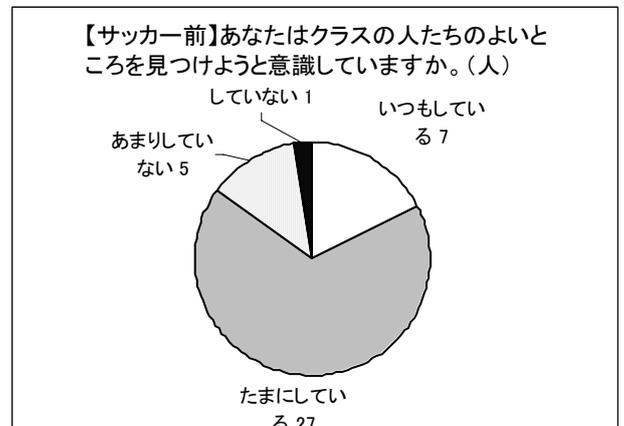
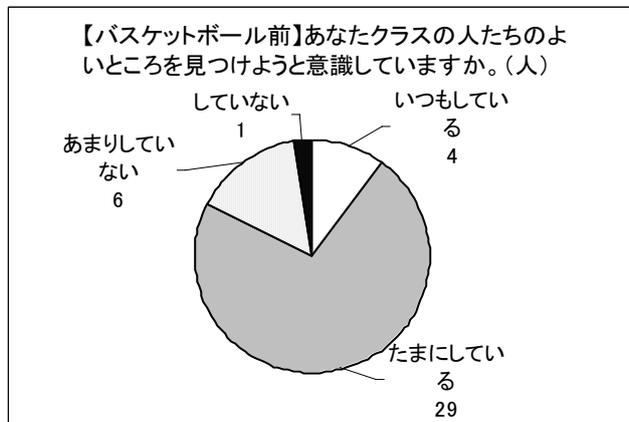
調査日：バスケットボール前：平成20年9月5日（金） サッカー前：平成20年10月2日（木）

回答数：40名

①よさに対する意識

設問1 あなたはクラスの人達のよいところを見つけようと意識していますか。

設問2 あなたはクラスの人達から自分のよいところを認めてもらっていると思いますか。

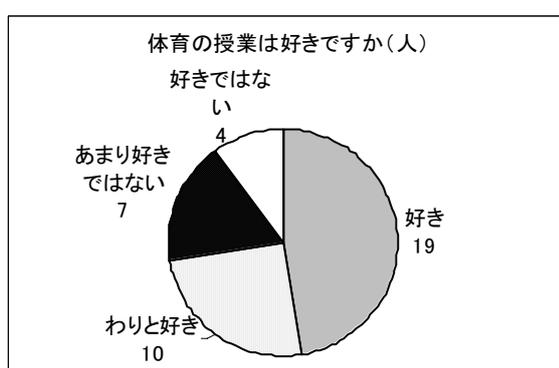


バスケットボール前の調査から、よさについては、クラスの人達のよいところを見つけようとする児童が全体の82%と高いことが分かる。しかし一方で、自分のよいところを認めてもらっていないという児童が全体の57%と半数以上を占めており、「自分はクラスの人たちのよさに目を向けているが、自分のよいところはあまり認めてもらえていない。」と思っている児童が多いことが分かる。

体育の学習に限らず、日常において男女で協力したり、励まし合ったりする姿は見られる。友達のよさを見つけようとはしているが、具体的な言葉や表現で本人に伝わっていない現状が考えられる。今回のボール運動の学習において、よさを見つけ、認め合いを行うことは、本学級において有意義な学習活動になると考えられる。バスケットボールの学習を通して友達のよさを見つけ認め合う活動を積み重ねたことによって、認められていると感じる児童が多くなったことが分かる。

②体育の授業に対する意識

設問3 体育の授業は好きですか。



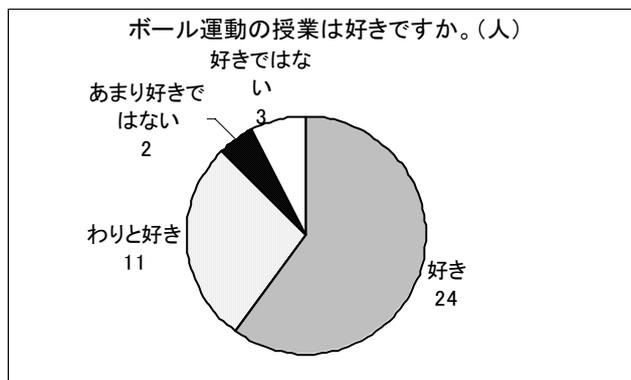
<好きな理由> (人)

体を動かすのが好きだから (17)
 チームで助け合ったりできる (3)
 ボールを扱うのが好き (4) など

本学級の全体の72%の児童は体育が「好き」「わりと好き」と答えており、体育が好きな児童が多いことが分かる。主な理由を見ても、体を動かすこと自体が好きな児童が大半を占めている。「好きではない」と答えた児童は、運動に対する苦手意識が高く自信がもてないのが主な理由である。チームの中で友達と肯定的にかかわり合いながら、楽しく活動する中で意欲を高めていけるように支援していきたい。

③ボールを使ったゲームの授業に対する意識

設問4 ボール運動の授業は好きですか。



<好きな理由> (人)
 好きな種目があるから (11)
 ボールを扱うのが楽しいから (7)
 チームワークのよさを学べるから (3)
 パスをつなぐのが楽しい (2)
 捕ったり投げたりして楽しいから (2) など

設問3で「体育があまり好きではない」と答えた児童の中に「ボール運動の授業は好き」と答えている児童が6名いることが分かる。理由を見てみると、「パスを回すのが楽しい」「点を入れると気持ちがいい」といった個人的な理由を始め、「チームで連携するのが楽しい」「チームワークが深まる」といったチームで活動することに楽しさを感じている児童もいることが分かる。チームで協力して活動するというボール運動の特性に触れさせるとともに、チームの力を高める喜びを味わわせていくことを意識した指導を工夫する必要がある。

④ボール運動の学習についての意識

設問5 ボール運動の学習を進めていく上で大切なことはどんなことですか。3つまで (人)

チームワーク (16)	ボール操作になれる (5)
声をかけあう (15)	安全・規則を守る (5)
積極的に動き、ボールに向かっていく (8)	信じる気持ち (5)
思いやり (7)	教え合い (3)
協力する (6)	チームのいいところを見つける (3)
みんなにパスをまわす (6)	練習する (2) など
みんなが楽しむ (6)	

作戦やめあてなどのチームとしての学び方に関する記述は少ないが、「チームワーク」や「声をかけ合う」などチームとしてのまとまりに関する記述が多くなっている。チームとしての基盤をチームとしてのまとまりに求める児童が多いことから、互いのよさを見つけ認め合うことを通し、そのよさをチームに生かしていく学習活動を展開していきたい。

⑤チームワークについての意識

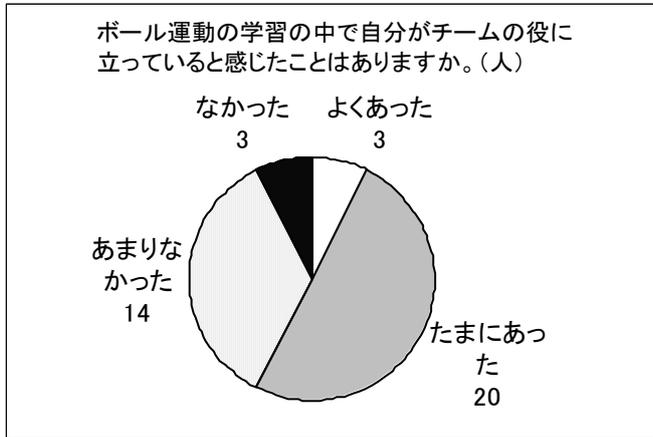
設問6 チームワークがよいとはどういうことだと思いますか。自由記述 (人)

助け合い、励まし合えること (13)	連係プレーができる (4)
みんなの気持ちが一つになること (10)	教え合いができる (2)
仲間を信頼し合うこと (4)	互いのよいところを見つける (2) など
仲がよいこと (4)	

チームワークについての意識としては「助け合い、励まし合えること」「みんなの気持ちが一つになること」など、チームとしてのまとまりについての記述がほとんどである。児童がもつ理想とするチームに迫れるよう、チームとしてのまとまりを基盤とし、チームとしての学び方やゲームの質を高めていく学習につなげていきたい。

⑥チームへの貢献についての意識

設問7 ボール運動の学習で、自分がチームの役に立っていると思ったことがありますか。



17名の児童が、チームの役に立っていると思ったことが「ない」「あまりない」と回答している。児童の意識としては、ゲームの質への貢献に関する記述が多い。

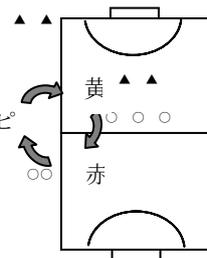
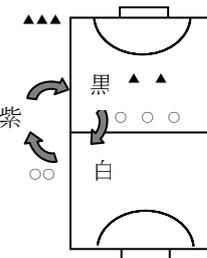
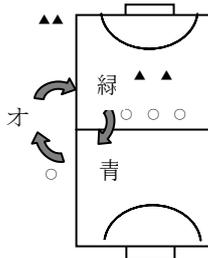
オリエンテーションの中で、ゲームの質への貢献だけでなく、チームとしてのまとまりや、学び方への貢献の仕方についても伝え、一人一人がチームに貢献できた実感できる学習としていきたい。

- <「役に立った」と思ったとき> (人)
- シュートを入れたとき (17)
 - ディフェンスをしたとき (9)
 - パスしたとき (7)
 - アシストしたとき (5)
 - 自分から声をかけて盛り上げたとき (4)
 - 自分の考えた作戦がうまくいったとき (3)
 - 「ナイス」と言われたときなど (2)
 - 自分の思ったプレーができたとき (2)
 - チームで協力できたとき
 - チームのゼッケンなどをしまったとき
 - ハイタッチされたとき
 - いいアドバイスしたとき
 - 敵があまりいないところに動いたとき
 - 頭脳プレーをした など

5 評価計画（評価規準と具体的な評価方法）

評価規準		具体的な児童の姿		評価方法と場面 (○数字は重点的に評価をする時間)		
		知る段階 (1)	高める段階 (2～8)	時	評価方法	評価場面
技能	○状況に応じたパスやドリブル、シュートをして攻撃したり、相手の攻撃を阻止するための守備の仕方を身に付けたりしてゲームを行うことができる。	○基本的なボール操作（パス、ドリブル、シュート）やボールを持たないときの動きが理解できる。	○状況や作戦に応じた動き（パス、ドリブル、シュート）をすることができる。 ○ボールを保持する人から、ボールの受けるところのできる場所に動いて、パスを受けたりシュートしたりすることができる。 ○チームの作戦に応じて、自分の役割を把握し、攻撃したり、守備をしたりすることができる。	① ⑧	観察 学習カード	チームの時間中 ゲーム中
態度	○友達のよさを見つけたり認めたりして、伝えることができる。	○友達のよさを見つけ、認めようとしている。	○ゲーム中やチームの時間中によさを認め、伝えようとしている。	① ④	観察 学習カード	ゲーム中 チームの時間中 作戦タイム
	○運動に進んで取り組み、ルールを守り、助け合って運動をしたり、場の用具の安全に気を配ったりすることができる。	○互いに役割を分担し、安全に気を配り、学習しようとしている。		③ ②	観察 学習カード	準備中 後片づけ中
		○ルールやマナーを守り、友達と助け合って進んでゲームに取り組もうとしている。		① ③ ⑤	観察	ゲーム中
思考・判断	○自分たちのチームのよさを生かした作戦を立て、活動を工夫したり、チームの状況を分析したりしている。	○記録カードの記入の仕方や評価活動の意味を理解している。	○自分のめあてを立てて友達の評価や記録をもとに振り返っている。 ○チームの力に合っためあてや作戦を考えている。 ○めあてを意識しながら活動している。	全	観察 チームカード 学習カード	チームの時間中 作戦タイム中 振り返りの時間
	○サッカーの行い方を知り、仲間が楽しめるようにルールを工夫している。	○タスクゲームの仕方を理解し活動している。	○タスクゲームやチームの時間で行った動き方をゲームで生かしている。	① ⑥	観察 チームカード 学習カード	ゲーム中 チームの時間中
		○基本的なゲームのルールを理解し、役割に責任をもって審判ができる。	○仲間が楽しみを味わえるようにルールを工夫しようとしている。 ○審判として正確な判定に努め、スムーズにゲームを進行することができる。	① ⑦	観察	ゲーム中 振り返りの時間

6 学習過程（45分×8回）

段階	学び方・チームの力を知る	チームの力を高める			
時間	第1時	第2時	第3時	第4時	
重点	チームのよさや自分のよさを見つける		一人一人がチームへの貢献につながる課題解決を積み		
学習内容・活動	<p>①オリエンテーション漫画で単元のねらいや学習の進め方を知り、単元の見通しをもつ。</p> <p>○学習資料の活用の仕方について知る。</p> <p>②チーム編成を行う。</p> <p>○伸ばしたいチームの力意識調査＋バランスチーム編成</p> <p>○1チーム4～5人（9チーム）</p> <p>○単元を通して同一チームで行う。</p> <p>③用具の準備や審判の仕方について知る。</p> <p>④準備運動をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> ボール慣れ ○足の裏でボールタッチ ○ドリブル鬼 </div> <p>⑤タスクゲームについて知り、取り組む。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> タスクゲームのねらい </div> <p>○フリーでパスを受けてシュートを打とう。</p> <p>⑥試しのゲームに取り組む。</p> <p>⑦整理運動をする。</p> <p>⑧学習の振り返りをする。</p> <p>⑨学習のまとめをする。</p> <p>⑩用具の片付けをする。</p>	<p>①用具の準備をする。</p> <p>②本時の学習内容を知る。</p> <p>③めあて・作戦を確認する。</p> <p>④準備運動をする。【運動の例】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">2人組でドリブル鬼を行う。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">タスクコートでボール鬼を行う。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">1対1でボールキープ鬼を行う。</div> </div> <p>⑤タスクゲームに取り組む。【3対2の攻防】</p> <p>○他チームと行う。ゴールしたら1点 4分—4分—4分 ローテーション（計12分）</p> <p>○外にいるチームは球入れやアドバイスを行う。</p> <p>○守る側は半円の中には入れない。</p> <p>(例) Aコート Bコート Cコート</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; text-align: center;"> <div style="width: 30%;"> <p>守り（2人）</p>  <p>攻め（3人）</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>守り（2人）</p>  <p>攻め（3人）</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>守り（2人）</p>  <p>攻め（3人）</p> </div> </div> <p>⑥ゲームに取り組む。</p> <p><進め方></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人数：4対4 ・時間：3分ハーフ（作戦タイム1分）×2 ・コート：1試合目はタスクゲームと同じコート <p>○対戦表に従ってゲームを行う。</p> <p>○審判やゲームの記録の仕方について知る。</p> <p>・役割分担 審判1人（2人） 得点1人 記録2人</p>			
	支援	<p>○一人一人のよさを生かしてどのようにチームの力を高めていくかなど、学習資料を活用し、単元の見通しをもち、目標に迫れるようにする。</p> <p>○チーム編成は、児童が主体的にかかわること、どのチームにも勝つ可能性があることを配慮して決めていく。</p>	<p>○準備運動やタスクゲームがゲームにつながるよう、</p> <p>○児童が主体的にゲームを運営できるよう審判や記録</p> <p>○ゲーム前に声を掛け合わせるなど、チーム意識を高め</p> <p>○準備運動、タスクゲーム、ゲームで、チームの協力面、うにする。</p> <p>○記録カードや他のチームからのアドバイスを自己評</p> <p>○タスクゲームやゲームの中でボールの受け方や周り</p>		

第5時	第6時（本時）	第7時	第8時
-----	---------	-----	-----

重ね、「チームの力」を高める。

ナンバリングパスを行う。

1対1でボールキープ鬼を行う。

シュートゲームを行う。

ドリブルシュートゲームを行う。

- ⑤タスクゲームに取り組む。【3対2の攻防】
2分—2分—2分 ローテーション（計6分）
- ⑥ゲームに取り組む。【2・3・4・5時 総当たり戦】
＜進め方＞
・人数：4対4
・時間：3分ハーフ（作戦タイム1分）×3
・コート：1試合目はタスクゲームと同じコート
○ ゲーム後、審判チームから記録カードをもとにアドバイスする。

時	Aコート	審	Bコート	審	Cコート	審
2	赤—黄	ピンク	白—黒	紫	青—緑	オレ
	赤—ピンク	黄	緑—紫	黒	青—オレ	白
3	黄—ピンク	赤	黒—紫	緑	白—オレ	青
	赤—黒	オレ	白—緑	紫	青—黄	ピンク
4	黒—オレ	赤	白—ピンク	黄	青—紫	緑
	赤—紫	黒	黄—オレ	白	緑—ピンク	青
5	赤—緑	オレ	白—黄	紫	青—黒	ピンク
	赤—オレ	緑	白—紫	黄	青—ピンク	黒
	緑—オレ	赤	黄—紫	白	黒—ピンク	青
6	赤—白	青	緑—黄	黒	オレ—紫	ピンク
	赤—青	白	緑—黒	黄	オレ—ピンク	紫
	白—青	赤	黄—黒	緑	紫—ピンク	オレ

- ⑤チームの時間に取り組む。
○ チームの課題に応じた活動に取り組む。
- ⑥ゲームに取り組む。
【7・8時 対抗戦】
＜進め方＞
・人数：4対4
・時間：3分ハーフ（作戦タイム1分）×3
(対戦例)

時	Aコート	審	Bコート	審	Cコート	審
7	赤—青	緑	白—黄	紫	黒—ピンク	オレ
	赤—青	緑	白—黄	紫	黒—ピンク	オレ
	赤—緑	青	白—紫	黄	黒—オレ	ピンク
8	赤—緑	青	白—紫	黄	黒—オレ	ピンク
	青—緑	赤	黄—紫	白	ピンク—オレ	黒
	青—緑	赤	黄—紫	白	ピンク—オレ	黒

ついて振り返る。 ○一人一人のめあてについて自己評価、他者評価を行う。

それぞれの活動のねらいを理解させる。
の仕方について助言する。
る指導を行う。
作戦を意識したプレー、技能のよさなどを賞賛し、各チームがチームの力を高めていくことができるよ
価活動に生かせるように助言する。
を見ながらプレーできるよう、個に応じて助言をする。

7 本時案 (6/8)

①本時のねらい

- 【技能】状況に応じて、パス、ドリブル、シュートなどの技能を生かしてゲームをすることができる。
 ボールを持たないときの動きからパスを受けたりシュートしたりすることができる。
- 【態度】互いによいところを見つけ合い、認め合って活動しようとする。
- 【思考・判断】自分やチームのよさを知り、これらを生かした作戦を立ててゲームに取り組み、振り返ることができる。

②本時の展開

めあて	学習活動	学習環境	教師の評価 (●) と支援 (○)
○チームの作戦と一人一人のめあてを確認する。	○集合・整列 あいさつを行う。	○掲示資料 ○用具の準備 ・ゼッケン ・ゴール ・ボール ・ホイッスル ・ストップウォッチ ・得点板等	○主体的に活動できるように、 掲示資料をもとに本日の学習内容の見通しをもたせる。
	○全体でストレッチ、準備運動を行う。 ・腰から下を中心にストレッチを行う。 ・ボール慣れを行う。	○タスクゲームを行う。(3対2の攻防) ・2分×3回を他チームとローテーションして行う。 ・外にいるチームは球入れやアドバイスをを行う。	
	○ゲームに取り組む。		<p>タスクゲーム</p> <p>○ボールを受けるためのよい動きや声かけをしている児童を賞賛し、チームに広げる。</p> <p>●ボールの受けることのできる場所に動いて、パスを受けたりシュートしたりすることができる。(技能)</p> <p>ゲーム</p> <p>○児童のよさを賞賛し、積極的に声かけをする。</p> <p>●ルールやマナーを守り、友達と助け合って進んでゲームに取り組もうとしている。(態度)【観察・個人カード】</p> <p>●タスクゲームで行った動き方をゲームで生かしている。(思考・判断)【観察】</p> <p>審判・記録</p> <p>○試合を記録する視点を明確にして記録させる。</p> <p>振り返り</p> <p>○よい声かけや動きをしていた児童やチームを取り上げて賞賛する。</p> <p>●友達の評価や記録をもとに自分のめあてを振り返り、次時のめあてを立てている。(思考・判断)【学習資料】</p>
	○整理運動を行う。	○学習資料 ・チームカード ・マイカード ・記録カード	
○学習を振り返る。 ・作戦 ・めあて ・よさ ・自己評価 ・次時の作戦、めあて		○用具の後片付け	

	Aコート	審・記	Bコート	審・記	Cコート	審・記
1	赤—白	青	緑—黄	黒	オレ—紫	ピンク
2	赤—青	白	緑—黒	黄	オレ—ピンク	紫
3	白—青	赤	黄—黒	緑	紫—ピンク	オレ